

補助金交付希望団体を募集します

地域の自主性と自立性を尊重し、町や地域にとって有効で、公益性が見込まれる事業に対し、補助することを目的とする「弟子屈町地域づくり活動支援事業補助金交付規則」に基づき、補助金交付希望団体の募集を行います。

【補助対象者】

町内において、地域づくり活動を継続的に推進する自治会およびコミュニティ団体など（会社法に定められている会社および営利団体を除く）

【補助金額】

補助対象経費の3分の2以内（ただし、1事業につき10万円が限度です）

【補助対象事業】

- ①公益性が認められる事業
- ②地域の活性化につながる事業など
（独立採算の事業・国、道もしくは町から別の補助金の交付を受けようとする事業は、対象となりません）

【補助対象例】

地域のイベントの開催、地域のための奉仕活動、セミナーの開催など

【募集期間】

随時（ただし、予算がなくなり次第終了します）

地域づくり活動支援事業補助金の利用状況(平成27年度の主な実績)

実施団体	実施事業	事業内容および効果
てしかが国際交流会	てしかが国際交流会トークシリーズ「もっと外国を知ろう」	町内在住の外国人や海外滞在経験者を講師に迎え、海外事情を聴く場を設けました。会を通し、国際交流の促進が図られました。
映画「じんじん」弟子屈町上映実行委員会	「クロコダイルの恋」弟子屈公演開催事業	音楽道化師ユニット「アルルカン・ヴォイス・シアター」による「クロコダイルの恋」の公演が行われ、舞台鑑賞を通じて町民の皆さんの文化・芸能に対する理解が深まりました。
リコーダーを楽しむ会	リコーダーを楽しむ会10周年記念コンサート	町内で活動する「リコーダーを楽しむ会」が、結成10周年記念コンサートを開催。誰もが触れたことがあるリコーダーを用いることで、気軽に音楽を楽しんでいただき、町民の皆さんの文化の醸成に寄与しました。

問い合わせ先/役場まちづくり政策課政策調整係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)

子育て世帯応援 保育料の助成を行います!

町では2014年度から、子育て支援事業として保育料の助成を行っています。各保育園・幼稚園に納めていただいた保育料の2分の1を助成するもので、子育て世帯の経済的負担を軽減することが目的です。

助成の対象となるのは、おひさま保育園・川湯保育園・摩周丘幼稚園・奥春別森の保育園に入園しているお子さんがいらっしゃる世帯です。

助成金は10月、3月の年2回支給です。申請書は9月末と2月末に、各園を通して保護者の方に配布します。申請書の提出先も各園となります。

ご不明な点などがありましたら、下記までお問い合わせください。

□問い合わせ先

- 役場福祉こども課児童福祉係 ☎ 4 8 2 - 2 9 2 1 (課直通)
- おひさま保育園 ☎ 4 8 2 - 2 4 4 4
- 川湯保育園 ☎ 4 8 3 - 2 5 3 7



なかの たいら ちゃん
中野 平 ちゃん



あきよし ゆうき ちゃん
秋吉 優樹 ちゃん



おの たかと ちゃん
小野 隆斗 ちゃん



おおみや きすげ ちゃん
大宮 葵祐 ちゃん



わだ はるき ちゃん
和田 悠輝 ちゃん

特定不妊治療費の助成
今年度から、特定不妊治療費に助成を行います。特定不妊治療とは、体外受精や顕微授精を行う治療のことをいいます。
助成額は次のとおりで、いずれも本町に住民票のある方が対象です。
① 既婚女性で40歳未満の方/治療1回当たり15万円(上限6回)
② 既婚女性で40歳以上43歳未満の方/治療1回当たり15万円(上限3回)
③ 男性/治療1回当たり15万円(生

寒い冬から、気分がウキウキする春になってきましたね。今年の冬はいつもよりも暖かい日が続いているように感じますが、皆さんはいかがお過ごしだったでしょうか？
さて、4月は新しく社会に出たり、学生の方は入学式があったりなど、新しいことがたくさん始まる月ですね。町でも、妊娠や出産に関して新しくなることがあります。



今月の保健師
長町 理乃 さん

妊娠・出産を応援します!

妊婦安心サポート事業
この事業は、妊婦さんの出産に関する情報を事前に登録しておくこと緊急時に担当医師の指示の下、速やかに出産予定病院に搬送するというシステムです。内容については、

男性も助成されるんだと思つた方もいらつしやるかもしれません。不妊は女性の問題と思われがちですが、最近では男性側にも問題があることが分かってきています。不妊治療は夫婦にとって深刻な悩みです。精神的な不安もありますが、治療費が高額で、通院している病院までの交通費などもかかり、経済的負担も大きくなりがちです。少しでも、経済的負担の軽減になればと考えて、実施することにしました。

広報でもお知らせしました。申請は母子手帳発行時にでき、現在、町外にお住まいの方で、出産のため本町に里帰りしてきたという方も申請できます！町公式ウェブサイトで詳しくお知らせしています。ぜひ、ご覧ください。

どうして、こんなに妊娠・出産に関する制度を整えたのか。それは、本町の出生数が年々減少しているからです。(グラフ1)
少しでも子育てしやすい環境に近づけるため、まずは経済的な負担の軽減から環境を整えました。これからの、もっと子育てがしやすい環境を提供していきたいと考えています。ご意見があれば、どんどんお知らせください。

